

エア・リキード、サステナブルなガラス製造に向け 酸素燃焼技術を東洋ガラスに提供

日本エア・リキード合同会社(本社:東京都港区、社長兼CEO 牧原 康二、以下エア・リキード)は、このたび東洋ガラス株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長 野口 信吾、以下東洋ガラス)千葉工場向けに、生産性向上と排出削減をもたらす酸素燃焼技術を提供することとなりました。

エア・リキードは酸素ガス、関連する機器やサービスを東洋ガラス千葉工場に提供し、同社がサステナビリティに関する目標の一環として大型ガラス溶融窯1基を改修するにあたり酸素燃焼技術を導入し、環境負荷を低減するという計画を支援します。飲料などに使われるビン容器向けのガラスを生産する大型ガラス溶融窯に酸素燃焼を導入するのは国内では初の試みとなります。酸素供給設備は、東洋ガラス千葉工場ガラス溶融窯1基の大規模修繕に合わせ設置されます。

エア・リキードは、ガラス製造向け酸素燃焼技術のリーダーとして、お客様の燃焼効率向上、脱炭素化の取り組みを幅広い技術ソリューションで支援しています。酸素燃焼技術に加えて、ガス供給方法に関しても、省エネルギーとCO2排出削減の観点から最適なソリューションでお客様のニーズにお応えしています。

日本エア・リキード社長兼CEO 牧原康二のコメント：「エア・リキードはお客様の課題やニーズを的確かつ迅速にとらえ、その工業分野に応じた、世界で実績のある技術ポートフォリオでお応えすることをめざしています。このたび東洋ガラス様にご採用いただいたこと、そして酸素燃焼技術によるガラス溶融プロセスの効率化、二酸化炭素排出量の削減を実現できることを大変喜ばしく存じます。」

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

ww-aljcommunications@airliquide.com

03 - 6414 - 6728

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社 (ALJ) は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界60カ国で66,300人の従業員を擁し、400万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心活動の核となってきました。

エア・リキードは、未来に備えつつ今日アクションをとることを戦略の中心に据えています。2025年までの戦略プラン「ADVANCE」により、財務的業績目標と財務を超えた取り組みを組み合わせた包括的なパフォーマンスを目指します。新しい市場をとらえ、柔軟さと強さを兼ね備えたビジネスモデル、技術知見に立脚したイノベーション力を生かしてまいります。エア・リキードは気候とエネルギー転換、とりわけ水素エネルギーに寄与するソリューションを開発し、医療、デジタル、ハイテク分野に注力してまいります。

2023年の売上高は275億ユーロを超えました。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ (A部) に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、FTSE4Good Indexの構成銘柄です。